

# インドネシアからの観光誘客 ここに チューモク



今月号の「ここにチューモク」は、西紋別広域観光戦略委員会（紋別市、雄武町、興部町、西興部村、滝上町）の5市町村の広域連携事業、海外プロモーションの第2弾として9月7日～10日にインドネシア・ジャカルタで実施した、観光PR事業について報告します。

## ■インドネシアにチューモク！ 其の1 どんな国？

インドネシア共和国、首都はジャカルタで、世界最多の大きささまざまな島で構成され赤道にまたがる国です。人口は二億三〇〇〇万人を超える世界第4位の規模で、世界最大のムスリム（イスラム教徒）人口を有します。

## 其の2 入込が激増！

インドネシアからの観光入込客数は、近年東南アジアの国々の中で一番伸びており、二〇一六年度の訪日者数は前年と比較して32%の増加で約27万人、二〇一七年度は、対前年30%の増加で35万人に達すると言われています。

また、今後、更にインドネシアの観光入込客数が増加する見込みの理由として、社会経済階層も影響していると言われています。

「中間・富裕層」と「中間・富裕層以外」の大きく2つに分かれていて、現在、中間・富裕層は七四〇〇万人、中間・富裕層以外が一億七四〇〇万人に対し、二〇二〇年には中間・富裕層が一億四一〇〇

万人、中間・富裕層以外が一億二七〇〇万人になると言われ、数年足らずで中間・富裕層が総人口の約53%を占めると分析されております。

本年度の芝ざくらまつりにおいても、インドネシアからのツアーバスでの入込は、前年度のバス4台から15台、人数も83人から290人と小さな母数ではありますが、大きく伸びを見せており、個人旅行も入込が伸びています。

## 其の3 飛行機が便利に！

今年の8月から国際定期航空便が1日3往復から、1日4往復に一便増加されました。オホーツク紋別空港定期便との利便性も向上され利用拡大に繋がると考えられます。

## ■現地旅行博にチューモク！

インドネシア・ジャカルタで開催された旅行博「クールジャパン2017」に紋別市と西紋別広域観光戦略委員会が合同でブースを展開しました。ジャカルタには、紋別観光戦略委員会、紋別観光振興公社、紋別市などから総勢6名が参加し、滝上町から伴商工観光係長が参加しましたの

で報告します。

「今回の旅行博では、会場において、旅行会社がインドネシアと日本間の航空券を直接お客様に販売し、チケットを手に入れたお客様がそれぞれのブースで情報収集しながら、旅行日程を決めるという海外ならではの取り組みでした。

会場では、紋別市・西紋別のブースが北海道を代表するような展開となっており、「北海道に来るなら、まずはオホーツク紋別空港に降りてください。西紋別エリアからと北海道周遊をスタートさせましょう！」と、積極的な営業を展開し、多くのお客様が熱心に耳を傾けられ、西紋別エリアから始まる北海道を決めていかれました。

芝ざくらに對する関心も非常に高く、「ぜひ見に行きたい、



一番いい時期はいつか？」と多くのお客様に声をかけていただきました。（もちろんインドネシア語です。）来年の芝ざくらまつりは、前回のベトナムでの観光PRに続き、インドネシアからの観光入込客数の増加！ここにチューモクです！

## ■戦略委員会にチューモク！

「西紋別広域観光戦略委員会」は、西紋別地区の観光資源を活かし、地域外から交流人口の増加を図り広域観光を推進するため組織されました。主な事業として、パンフレット作成、人材育成事業、国内、海外国内外の誘客を図るためプロモーション事業などに取り組んでいます。